

青年委員会だより

令和6年11月1日(第271号)

青森県建築士会青森支部青年委員会

けんちくたいけんウオッチ! 慰労会開催!!



10月11日 日本料理つかさにて、建築体験ウォッチ慰労会が開催された。建築士会のメンバーはじめ、協力団体、建設業協会、高等技術専門学校の方々総勢22名が参加した。松野青年委員長は乾杯の挨拶で「今年は悪天候にも関わらず800人を超える来場者が訪れ、大成功に終わった。また来年も開催を目指したい。」と語り労をねぎらった。

普段顔を合やすことのない方や仕事以外で会う機会のない方々と、美味しい料理とお酒を交わし、様々な話のできる良い機会となった。楽しい時間はあっという間に過ぎ、最後は建設業協会の西谷さんの三本締めで締めくくられた。



10月25日 第66回 建築士会全国大会 鹿児島大会が開催された。今年は「もえよ! 建築維新〜たぎる地で築く未来〜」をテーマとし、建築維新を主軸にこれからの建築の可能性を考える大会となった。

来年第67回は大阪大会。テーマは「建築とソーシャルデザイン」。建築の枠を広げて、社会問題とどう向き合うかについて考えていく。大阪府建築士会では、大阪関西万博も合わせて大阪を満喫できる計画も練られています。ぜひみなさまご参加ください!

第66回 建築士会全国大会
鹿児島大会

2024
10.25 FRI



Kagoshima Convention 2024

もえよ!
たぎる地で築く未来
建築維新

くまもとアートポリス建築展 2024

「持続する志」 —くまもとアートポリス36年—

青森県で青函トンネルが竣工した昭和63年「くまもとアートポリス」は都市計画や建築文化の向上を図る目的で創設された。現在までに山本理顕、レンゾ・ピアノ、妹島和世など多くの著名建築家を迎えながら数々のプロジェクトに携わっている。

11.11-24 見学会

建築ウィーク

11.16-24 展覧会

くまもとアートポリス36年と
これから



11.23 メインシンポジウム

新しい公共性とは何か
〜若い建築家達の取り組み小さなコミュニティ〜

「くまもとアートポリス建築展 2024」は「持続する志—くまもとアートポリス36年—」をテーマに、熊本県民と共に育み持続してきた「くまもとアートポリス」のこれまでの取組みとこれからの展望が発表される。

メインシンポジウムでは「みんなの家」をはじめとした同団体の取組みを踏まえ、地域の課題である空き家再生や小さなコミュニティづくりに関わる若い建築家らと共に、新しい公共性について考えていく。コミッショナーを務める伊東豊雄氏の基調講演をはじめ、乾久美子氏・桂英昭氏による「小さな風景と建築」をテーマにしたトークイベント、また普段見ることのできないアートポリスプロジェクト施設内部を内覧できる特別見学会も開催される。11月の休日は熊本にも足を延ばしてみたいかがでしょうか。

2025年4月から ルールを改正します!

10月23日 国土交通省案内の法改正による設計等実務講習会が行われた。大まかに主な内容・ポイントとしては

・四号特例の見直しによる申請・検査の対象範囲拡大・

※ただし大規模の修繕・大規模の模様替において、カバー工法等の主要構造部に手を掛けない場合は申請不要。

・壁量基準等の改正・

※現行の壁・柱算定表の廃止。
支援ツールとして早見表及び表計算ツールが用意されている。



早見表
表計算ツール

・構造計算対象の見直し・

※階数に関わらず、延べ面積300m²を超える場合は少なくとも簡易構造計算(許容応力度計算ルート1)が必要。

・住宅の採光規定の見直し・

※一定条件下で採光有効開口面積1/10以上まで緩和。

・省エネ基準適合義務化・

※基本形は省エネ適合判定通知書が交付されないと確認済証は下りないが、評価方法の種類によっては適判の省略または手続や添付図書を合理化することができる。外皮性能と一次省エネ性能の両方を仕様基準により評価する場合または住宅性能評価等を確認済証交付前に取得する場合には、省エネ適判は不要となる。

いずれの場合も**着工が令和7年4月1日以降の建築物全て**に適用される。これは3月中に確認済証の交付が済んでいる場合においても、中間検査または完了検査時に全て適用させる必要がある。

他必要添付図書、必要記載事項等をはじめ詳細は各HPにも掲載されている。また当面の間はサポートセンターも開設予定。不明点や疑問が相談できるので、ご不安の残る方はご活用ください。



省エネ法
オンライン講座



省エネ法
テキスト



～松隈洋ワークショップ vol.2～ **建築家 前川國男の世界**

10月5.6日「松隈洋ワークショップvol.2 建築家前川國男の世界」が弘前市にて開催された。6日は実際に、前川建築初の国の重要文化財となった木村産業研究所を見学しながら、前川建築について知る機会となった。時には前川國男の裏話や丹下健三との興味深いこぼれ話なども伺えた。



サヴォア邸の翌年に竣工した木村産業研究所は、前川國男の記念すべきデビュー作である。そこには27歳の若き前川がコルビュジエから学んだ建築思想、A-レーモンドから得た設計技術の影響が随所に見られる。

昭和初期のモダニズム建築が重文になることはまだまだ少ない。「日常から離れたモニュメント的な建築ではなく、人間に使われていることに焦点を当てていることが20世紀の建築といえる。まさにそれは前川作品にも当てはまる。」と松隈さんは語った。日常的に使用されながら、またその価値を先へ繋げていく「リビングヘリテージ」が、保存建築のこれからを示唆している。

次回は来年5月に開催予定。ご興味のある方はぜひチェックしてみてください。



小津安二郎監督が、戦後の日本の変わりゆく社会と家族の姿を静かに見つめた代表作4本を11月23.24日の2日間にわたって上映。

Day 1 11月23日 (土)

10:00 - 「麦秋」

13:00 - 「東京物語」

Day 2 11月24日 (日)

10:00 - 「彼岸花」

13:00 - 「秋刀魚の味」

1日券 [前売券・当日券]
1,000円 (税込)

各日2本ずつ鑑賞可能 (全席自由)



SPINNING SCAPES

アーティスト・イン・レジデンス プログラム 2024

ACACで実施中のアーティスト・イン・レジデンスプログラム「SPINNING SCAPES」。11月からは八幡亜樹、マギー・チュウに加え、さらに下記の2名の方が滞在予定。日が良ければ制作活動も見られるかもしれない。

浅野友理子 ASANO Yuriko

豊かな自然が広がるACACの敷地内には、多くの野鳥が生息している。本滞在中はACACのほかに、八甲田山や十和田湖周辺にもリサーチ範囲を広げ、鳥のペリット (消化できずに口から吐き出されたもの) や糞に含まれる種がもたらす生命の循環や、生き物の移動についてリサーチを行う。

滞在期間：11月13日(水)ー12月10日(火)

ベアトリス・ディディエ Béatrice DIDIER

ベアトリス・ディディエが近年の作品制作におけるテーマとしてきた、歩くという行為と、自身が置かれている場所や風景とのつながりについて探求する。彼女の作品は、青森に住まう人々との出会いや関わり合いを通じて、いま・ここで起こることを反映するだろう。

滞在期間：11月27日(水)ー12月10日(火)

Information

11・12月

11月5日 (火) - 2月16日 (日)

◆コレクション展 2024 -1

(青森県立美術館)

14日 (木) 13:30 - 15:20

◆『建築体験伝道活動』授業

(青森県立青森工業高等学校)

15日 (金) 19:00 -

◆青年委員会定例会

(青森うまいもん居酒屋 わやわや)

16日 (土) 17:00 - 20:00

◆ナイトミュージアム 2024

(青森県立美術館) ※最終入場 19:30

21日 (木) 9:00 - 16:50

◆二級建築士定期講習

(日建学院 青森校)

申込締切：11月8日 (金)



21日 (木) 12:00 - 13:00

◆シーラカンスアンドアソシエイツが教える

学校空間：設計における7要素

(オンライン、先着300名)

※CPD単位認定セミナー

申込締切：11月20日 (水)



24日 (日) 10:30 - 11:30

◆「見えない建築」ツアー

(青森公立大学 国際芸術センター青森)

集合：展示棟ギャラリーA入口

◎予約不要・参加無料

25日 (月) 13:30 -

◆青森県木造住宅

耐震診断技術講習会

(リンクステーションホール 4F)



12月5日 (木) 9:00 - 17:00

◆一級建築士定期講習

(日建学院 青森校)

申込締切：11月22日 (金)



編集 / 黒滝 和

青年委員会定例会 11月15日 (金) 19:00～ (青森うまいもん居酒屋 わやわや)

参加ご希望の方は 下記へご記入の上、いずれかでご返信ください

FAX : 017-771-4320 / mail : info@aaba.gr.jp

氏名

TEL